

県中学校インドアソフトテニス大会



団体が初優勝したソフトテニス部男子の皆さんと監督の多田美由紀教諭(写真右)

山中が男子団体で初優勝

個人で阿部・濱登組が3位

一月七日と八日に水沢市で開かれた第十七回県中学校インドアソフトテニス大会兼都道府県対抗全日本中学生大会選手選考会で、山中のソフトテニス部男子が健闘ぶりを見せました。

男子団体戦には、県新人大会上位校など九校が出場。山中は予選リーグを二戦全勝で決勝リーグへ進出しました。決勝リーグの初戦で久慈中に3対0で快勝し、続く試合では県新人大会優勝校の野田中と対戦。三番勝負のファイナルゲームまでもつれる接戦を制し、見事初優勝を飾りました。

男子個人戦には、県新人大会上位十六組が出場。山中の阿部清寿・濱登組は、予選リーグを三戦全勝で決勝トーナメントに進出しました。トーナメント初戦で下橋中(盛岡)を4対0で下し、続く準決勝では惜しくも敗れたものの堂々の3位に入賞。三月に三重県で開催される都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会の出場権を獲得しました。県選抜選手として全大会に出場する二人は、「いつものプレーで、初戦突破を目指して頑張ります」と抱負を語ってくれました。

◇団体出場選手 阿部清寿、濱登司、永野誠人、太田祐也、中村剛士、濱登拓哉、山崎健裕(以上二年)、富士信(二年)

〈敬称略〉

自然を守り続けて11年 鳥居貞男さんに県知事感謝状

平成十五年度の自然保護功労者知事感謝状

贈呈式が二月三日、盛岡市のエスポワールいわてで行われ、大沢の鳥居貞男さん(七五)に、

県知事から感謝状が贈られました。

同感謝状は、自然環境の保護活動や啓発

などに顕著な功績があった人や団体に対して贈られるもので、本年度は鳥居さんを含む五人と二団体に贈られました。

鳥居さんは平成四年に自然保護管理員に委嘱されて、今年で十二年目。主に大沢から大浦までの国立公園などを巡回し、遊歩道の危険箇所の補修や風雪害による倒木の処理、観光客・釣

り客への事故防止やごみの持ち帰りの指導などを行い、この長年にわたる地道な活動が認められたものです。

鳥居さんは「わたしは自然が好きですし、皆さんのためにもなるので、とてもやりがいのある仕事だと思っています。巡回しながら見える山田の景色は本当に素晴らしいものです。皆さんが自然に興味を持ち、楽しんで帰られるのは大変うれしいのですが、楽しむだけでなく、自然を守ろうという気持ちが必要だと思います」と自然を愛する心を願っていました。



感謝状を手に喜びの鳥居さん

新教育委員に 内田真由美さん

町議会臨時会が二月四日に開かれ、新しい教育委員に内田真由美さんを任命することが同意されました。中村和治教育委員の任期満了に伴うもので、任期は二月六日から四年間です。

内田委員は「母親としての視点から意見を出し、山田の教育の発展に努力したい」と抱負を述べています。

【略歴】 東京都立日比谷高校卒。平成11年4月から町社会福祉協議会非常勤ホームヘルパー。平成13年2月から人権擁護委員に委嘱され、現在に至る。石峠四一四三一一。49歳。



教育委員に任命された内田真由美さん